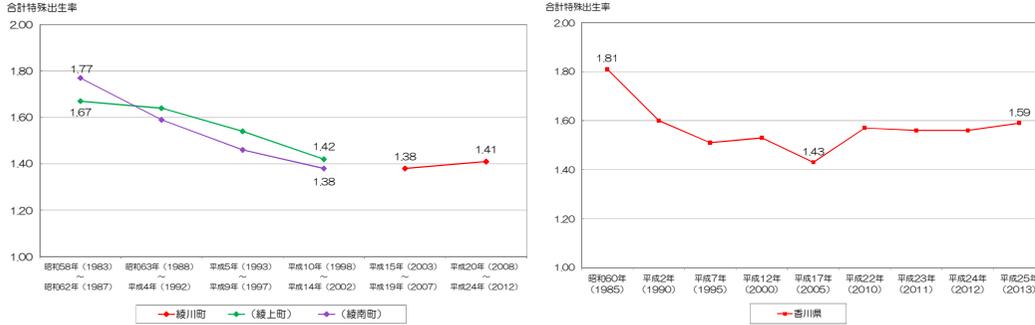


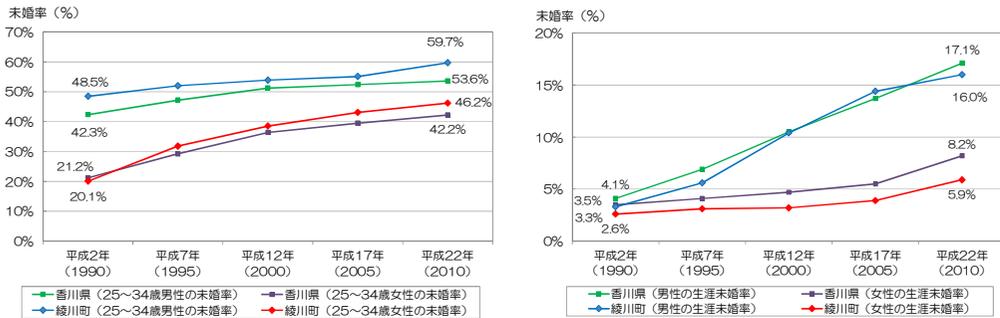
綾川町の人口動態等からみた特性と課題

- 近年の本町の合計特殊出生率は1.4程度で、香川県（1.59）より低く、人口置換水準の2.07より低くなっており、自然減の状態が続いている。



綾川町、香川県の合計特殊出生率の推移

- 本町の若い世代（25～34歳）の未婚率は、増加傾向にあり、その値は香川県と比べて高くなっている。また、生涯未婚率も増加傾向にあり、晩婚化、非婚化が進んでいる。



綾川町、香川県の25～34歳の未婚率の推移

綾川町、香川県の生涯未婚率の推移

- 長らく社会減の状態が続いており、特に男性、女性ともに20歳前後の転出超過が多くなっている。一方で、10歳未満の男性の転入が多い。直近の平成26年では、丸亀市及び愛媛県、岡山県、徳島県からの転入が多く、転入超過となっている。

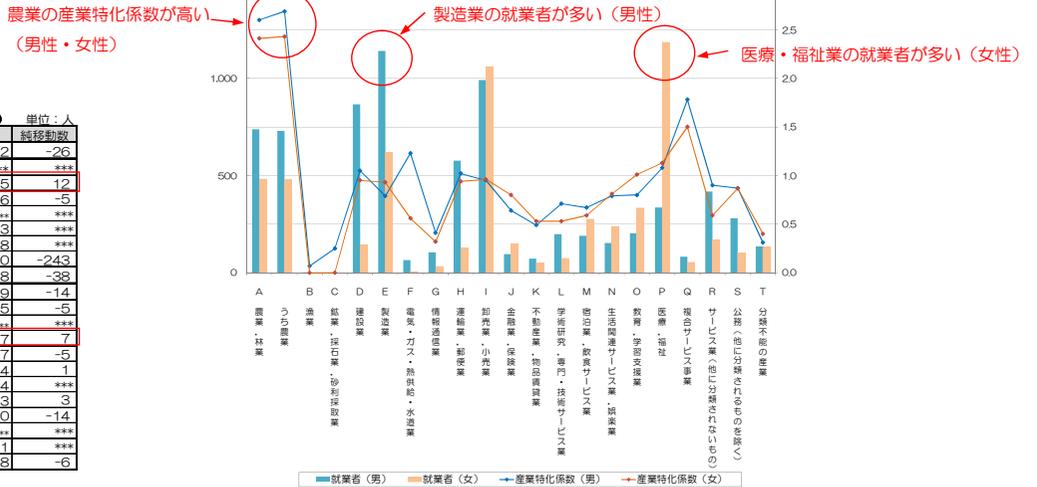


年齢階級別の人口移動（男性、女性・社会移動）

	転入数	転出数	純移動数
香川県内	427	363	64
高松市	245	240	5
丸亀市	59	42	17
坂出市	19	18	1
善通寺市	19	***	***
観音寺市	10	13	-3
三豊市	***	12	***
さぬき市	11	***	***
宇多津町	14	***	***
まんのう町	22	***	***
その他の市町村	28	38	-10
県外	223	236	-13
埼玉県	***	11	***
東京都	25	24	1
大阪府	31	29	2
兵庫県	***	19	***
岡山県	23	14	9
広島県	11	***	***
徳島県	25	15	10
愛媛県	31	25	6
福岡県	12	***	***
その他の県	65	99	-34

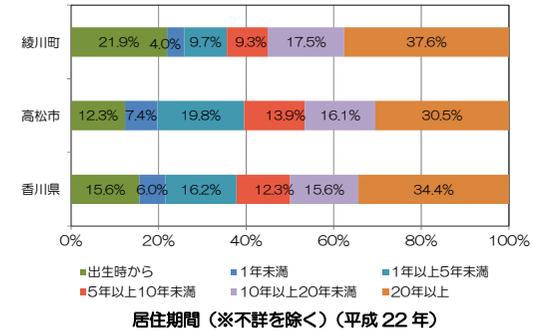
転入元・転出先における移動数の内訳（平成26年、平成24年）

	転入数	転出数	純移動数
香川県内	366	392	-26
高松市	219	***	***
丸亀市	47	35	12
坂出市	21	26	-5
観音寺市	11	***	***
宇多津町	11	13	-2
まんのう町	***	18	***
その他の市町村	57	300	-243
県外	200	238	-38
東京都	15	29	-14
神奈川県	10	15	-5
愛知県	10	***	***
大阪府	34	27	7
兵庫県	12	17	-5
岡山県	15	14	1
広島県	***	14	***
徳島県	16	13	3
愛媛県	16	30	-14
高知県	10	***	***
福岡県	***	11	***
その他の県	62	68	-6

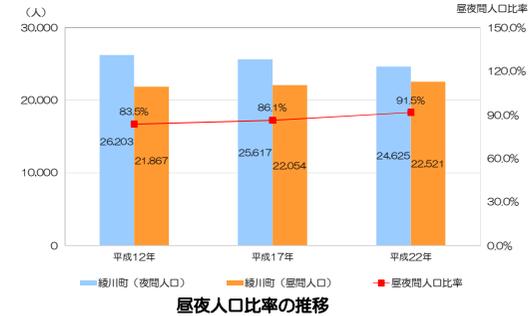


産業別就業人口（15歳以上）及び産業特化係数（平成22年）

- 本町に出生時から住んでいる、または20年以上住んでいる人の割合の合計が約60%となっており、居住期間が長くなっている。



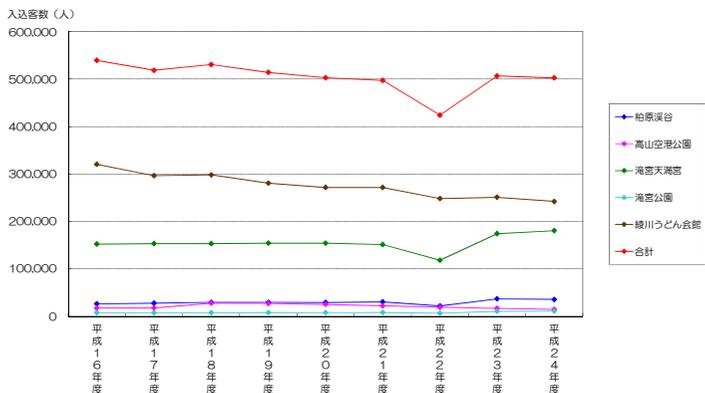
- 昼夜間人口比率（昼間人口/夜間人口）は増加傾向にあるものの、100%を下回っており、昼間は町外で就業・通学している人が多くなっている。



- 男性では製造業の就業者が最も多く、次いで卸売業・小売業、建設業となっている。女性では、医療・福祉の就業者が最も多く、次いで卸売業・小売業、製造業となっている。

●大型小売店舗や沿道型店舗が増加するなどの傾向が見られ、サービス業などの第3次産業の就労者が多くなっている。また、工業団地には優良な企業の誘致も進んでいる。農業は、米を中心に、いちご、きゅうりなどの園芸作物、柿などの果樹栽培も盛んである。さらに自然や歴史のほか、うどんやいちごなどの特産品を活かした観光を展開している。

●本町の観光入込客数は、平成22（2010）年度については、滝宮天満宮の減少等により、落ち込みが大きくなっているものの、おおむね50万人前後で推移している。中でも、道の駅滝宮に設置されている食文化を伝える「綾川うどん会館」や歴史的背景を持つ「滝宮天満宮」などに比較的多くの観光客が訪れている。



観光入込客数の推移

### 2012年

県名	
1位	長野県
2位	岡山県
3位	福島県
4位	香川県
5位	千葉県
6位	島根県
7位	大分県
8位	鳥取県
9位	宮崎県
10位	和歌山県

N= 1017

### 2013年

県名	
1位	長野県
2位	山梨県
3位	岡山県
4位	福島県
5位	熊本県
6位	高知県
7位	富山県
8位	群馬県
9位	香川県
10位	鹿児島県

N= 1642

### 2014年

県名	
1位	山梨県
2位	長野県
3位	岡山県
4位	福島県
5位	新潟県
6位	熊本県
7位	静岡県
8位	島根県
9位	富山県
10位	香川県

N= 2885

田舎暮らし希望地域ランキング（資料：NPO法人 ふるさと回帰支援センター）

※実際に田舎暮らしを考えている相談者に対してのアンケート調査

本町へ多く転入（転入超過）している転入元は、県内では丸亀市、県外では、大阪府、岡山県、徳島県、愛媛県からとなっている。また昼夜人口比率から、ベッドタウンとして機能していることがうかがえる。香川県への移住ニーズは高く、高松市に近接している地域特性や空港、高速道路（府中湖IC）にも近接しているといった利便性を活かした移住を促進する。

## 綾川町総合戦略の施策展開に向けた方向性

